

# 令和6年度 学 校 評 価 報 告

草加市立高砂小学校

(令和7年2月17日作成)

<b>1 学校教育目標</b> 学校表育目標 あかるく かしこく たくましく めざす学校像 伝統と誇り、そして自分らしさを大切にする学校 高砂小	
<b>2 重点目標・努力目標</b> ○幼保小中を一貫した教育の推進 ・交流活動の推進 ・自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む ○算数科を中心とした校内研修の充実 ・一人一研究授業 ・個に応じた支援の充実	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ○校長のリーダーシップのもと、高砂小ハンドブックを繰り返し全職員で確認することで、共通理解、共通行動のもと、児童を育成することができた。 課題 ●わかりやすい授業づくりの実践を全職員で行い、自己肯定感、自己有用感とともに学力の向上に取り組んでいく。 ・タブレット端末の授業や業務での有効活用を校内で研修し、共有することにより全職員でICT活用の充実に取り組む。

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○校長が打合せ等をおして、繰り返し伝えることで、全教職員で共通理解・共通行動を図り、自己肯定感、自己有用感・他者理解を育むことができた。 ●教職員数が多いため、校務支援システムの活用をもっと図る必要がある。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○外部から指導者を招き、研究推進委員長を中心として、教職員が主体的な研修を進めることができた。 ●教科だけでなく、様々な領域も含め研修計画を立てる必要がある。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○複合施設のため、様々な施設や近隣の保育園等と連絡を取りながら合同避難訓練を実施することができた。 ●これまでのきまった形の避難訓練だけでなく、様々なことを想定した訓練が必要である。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○倫理確立委員会や職集をおして、日頃からの危機意識の高揚を図った。 ●鍵の管理等煩雑なところがあるため、徹底していく。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○ホームページを各学年で更新しながら、情報を発信したり、多くの地域のイベントに金管バンドクラブを中心に参加したりすることができた。 ●ホームページの更新頻度を増やす。

⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子ども像の共有</li> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成</li> <li>・一貫教育推進のための組織づくり</li> </ul>	B	<p>○年度当初に管理職で集まり、方向性を確認したり、夏季休業中に合同研修会を実施したりしながら、取り組むことができた。</p> <p>●取組内容を見直しながら、定期的に研修を行う必要がある。</p>
--------------	---	---	--

(様式1・小学校用②)

草加市立高砂小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>・教育計画の作成</li> <li>・教育活動の評価</li> <li>・目標、方針の周知</li> <li>・授業時数の配当、確保</li> </ul>	A	<p>○授業時数と授業内容を意識しながら、進めることができた。</p> <p>●教育活動の充実と教職員の働き方改革を同時に進めていく必要がある。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・外部人材の活用</li> </ul>	B	<p>○外部指導者を招き研修を行うことで、授業改善につなげることができた。</p> <p>●ICTをさらに活用した授業改善及び教材研究を進める必要がある。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の作成</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・道徳的実践力の育成</li> <li>・家庭、地域社会との連携</li> <li>・いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<p>○外部指導者を招き授業研究会を行うことで、授業改善につなげることができた。</p> <p>●教育活動全体に生かしていくことが必要である。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・各教科、道徳教育との関連</li> <li>・中学校との連携</li> </ul>	A	<p>○外国語専科とALTが連携し、児童が意欲的に授業に取り組むことができた。</p> <p>●高学年は専科教員が授業を行っているが中学年は担任のため、さらなる授業改善が必要である。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・学級活動、学級経営</li> <li>・学校行事</li> <li>・児童会活動</li> </ul>	B	<p>○各行事を見直しながら、子どもたちが意欲的に活動できるよう取り組むことができた。</p> <p>●学級活動（1）の話合い活動の充実を図る必要がある。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価の工夫</li> <li>・地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<p>○外部講師を招いて授業を行うなど、学年単位で様々な授業を行うことができた。</p> <p>●自分たちの生活との関わりから、課題意識をもって授業を行う必要がある。</p>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な生徒指導</li> <li>・問題行動への対処</li> <li>・教育相談、児童理解</li> <li>・いじめ防止対策</li> <li>・保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<p>○生徒指導主任を中心に共通理解を図ったり、解決策を模索したりしながら取り組むことができた。</p> <p>●登校渋りの子どもたちへの対応をこれまで以上に組織的に行っていく必要がある。</p>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・中学校との連携</li> <li>・啓発的経験の充実</li> <li>・家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<p>○キャリアパスポートを活用しながら進めることができた。</p> <p>●学年に応じた取組の充実を図る必要がある。</p>

⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画、支援計画</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・通常学級との交流</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・校内支援体制の整備</li> </ul>	B	<p>○教育支援室や特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任と連携を取りながら、取り組んでいる。</p> <p>●様々な課題に応じた研修を行う必要がある。</p>
⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画、支援計画の作成</li> <li>・図書館補助員の活用</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・図書館の整備</li> <li>・図書館利用の工夫</li> </ul>	A	<p>○図書委員会や各学級での取組等により多くの児童が読書に取り組むことができた。</p> <p>●本を読まない児童との二極化解消に取り組む必要がある。</p>
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画の作成</li> <li>・校内研修の充実</li> <li>・ICT機器の積極的な活用</li> <li>・情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<p>○どの学年もタブレット端末を活用して授業を進めることができた。</p> <p>●情報モラル教育の更なる充実を図る必要がある。</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の策定</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・人権感覚の育成</li> <li>・校内研修の充実</li> </ul>	B	<p>○様々な場面で情報提供、研修を行い、</p> <p>●様々な人権課題を意識して教科等で取り組む必要がある。</p>

(様式1・小学校用③)

草加市立高砂小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学校教育目標 あかるく かしこく たくましく の具現化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・組織的な対応</li> <li>・基本的な生活習慣の定着</li> </ul>	B	<p>○市の研究委嘱を受け、中学校区で目指す子どもの姿を確認し、取組を共通で行ったり、授業改善に努めたりしながら進めてきたことで、多くの子どもたちは明るく元気よく生活ができています。</p> <p>●元気なあいさつができていないため、引き続き指導していく。</p>
	②開かれた学校 家庭・地域・社会 との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の立案</li> <li>・環境整備</li> <li>・人材の活用</li> </ul>	A	<p>○避難所運営訓練、1年生の昔遊び会等、地域の方とつながりをもちながら取り組むことができた。</p> <p>●地域の人材等を計画的に活用していく。</p>
	③働き方改革を柱とした業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務削減</li> <li>・校務の精選</li> <li>・環境整備</li> </ul>	B	<p>○校務支援システム、授業用タブレット端末を積極的に活用し、早期退勤を促してきた。</p> <p>●業務の見直しを随時行いながら、定時退勤できる日を増やしていく必要がある。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・校内研修における教員同士の授業参観を多く計画することで、様々な意見交流をもち、授業改善につなげることができた。
- ・毎月の安全点検をもとに、施設設備の安全にも全職員がアンテナを高く保ち、高い危機管理意識をもって教育活動に取り組むことができた。
- ・金管バンドクラブを中心に積極的に地域に出かけ演奏したり、定期的なHP更新等による情報発信をしたりしながら、開かれた学校づくりの推進に努めてきた。

## 6 次年度の改善策

- ・わかる授業を実践し、自己肯定感、自己有用感・他者理解を育むとともに、学力の向上に努める。
- ・凡事徹底、積極的な生徒指導等を行い、不登校児童の減少に向けて取り組む。
- ・休みを取りやすい雰囲気づくり等、働き方改革を次年度も推進していく。
- ・タブレット端末の授業や業務での有効活用を校内で研修し、共有することにより全職員でICT活用の充実に取り組む。